

ときわ会 「健康麻雀会」 麻雀ルール (改定⑥ 2018年12月22日)

1. 食(く)いたん、役(やく)の後付け、食い替え、フリテンありの、ありありルール 25,000点を原点(30,000点返し)とする半荘(ハンチャン)戦(半荘の東/南戦を行い、1ゲームとする。ゲーム(又は時間制限)終了の得点集計時、端数の500点以下を零点、600点以上を1,000点とする)。尚、競技者4人固定方式(A方式)と1時間20分毎の成績順による競技者入れ替え方式(B方式)を適宜採用する(B方式の場合は2回組み替え、3回戦(3ゲーム)競技とする)。
2. 形式テンパイあり(鳴いていて役が無く、ハイテイツモ等の偶然役に頼るしかないテンパイ)。偶然役(全て1翻): ①ホーテイロン…最後の捨て牌でロン上がり ②チャンカン…他の人が加カンを行なった時、その牌で上がり(暗カンに対しては不可であるが、国土無双は暗カンにもロン出来る) ③リンシャンカイホー…カンした際に補充する牌でツモ上がり。ただし、カン振りは無しとする(カン後に捨てた牌で通常のロンは出来るが、1翻役にはならない)。
3. ノーテン(テンパイせず)の罰符(罰金)は、場に3,000点とする。
4. 連荘(レンチャン)は、1本場(百点棒1本を掲示)につき300点とする。
5. 親がノーテンなら親流れで、オーラス(南4局)ならゲーム終了(供託はトップ取りとする)。尚、A方式の場合は、4人のうち1人でも点数を借りた時点(ハコ点)でゲーム終了。B方式の場合は、借り点棒により時間まで競技を続行する。
6. オーラスの親の上がり止め、テンパイ止めあり。
7. 一発、裏ドラ、カンドラ、カン裏ドラあり。
8. 流局あり。四風連打(スーフウれんだ)、9種9牌、4人リーチ、4カン…2人以上による4つのカンの成立、3人上がり…3人が同時にロンの場合は全て流局。通常流局、途中流局ともにツミ棒…百点棒を1本プラスする。
9. ダブロン(二人上がり)なし。上家(カミチャ)の優先上がりとする。
10. 大四喜(ダイスーシー)、大三元(それぞれ役満…4倍満…最高役)のパオ(責任払い)はツモされた場合は全額払い、他家(ターチャ)がロンされた場合は折半。
11. 流し満貫、ローカルルールや古役(こやく)なし。十三不塔(シーサンプトー)、大車輪、百万石、三連刻(サンレンコー、二翻(リャンハン)縛り等なしとする)。
12. チョンボした場合は満貫払い…親は12,000点、子は8,000点…で、ゲームをやり直すがツミ棒は増やさない。**まずは、どうしたら仲間から罰金を取らないで済ませるか、みんなで考えよう!**
 チョンボの細則
 - ① 誤ロン、誤ツモにより、2人以上が手牌を(表を上にして)倒したとき。(当人だけが手牌を倒したときは、元に戻して競技を続行し、当人は上がり放棄。流局時はノーテン扱い)
 - ② ノーテンリーチ。(当人が第1ツモまでに気づいて告白した場合、その時点で上がり放棄扱いとする。但し、上り優先とする)尚、多牌、少牌は上がり放棄扱いとし、配牌の取り間違いはその場で調整する(いずれもチョンボ扱いとしない)。
13. その他 8翻(デン・デン含む)は5割増しのハネ満、10翻は倍満、13翻以上は3倍満。七対子の最小得点は50符1翻(子1,600、親2,400)。

以上、他は(平成版)麻雀新報知ルールに準拠する。